

祝！那覇市議会

那覇市議会

100周年記念誌



100周年記念

はじめに

那覇市議会は、1921 年（大正 10 年）5 月の那覇市制スタートを受けて、同年 8 月に第 1 回目となる本会議を開きました。戦前の草創期、戦中戦後の激動期、復帰後の復興期を経て 2021 年（令和 3 年）、市制施行、議会開設ともに 100 周年を迎えました。

那覇市は、琉球王府の首里城がおかれ文化と政治経済の中心拠点として、その輝かしい歴史を継いで、今では名実ともに県都として発展を遂げてきました。

しかし、その道のりは悪戦苦闘の連続でした。沖縄戦では 10・10 空襲（1944 年）で市の約 9 割が爆撃を受けて壊滅的な状態となり、翌年の激しい地上戦では、すべてを灰燼に帰す戦火に飲み込まれました。

戦後は 27 年間、米国統治下におかれ、1972 年によりやく本土復帰となり、平和で豊かな郷土建設をめざして前進し、今日に至っています。これまで血の滲むような努力を重ねてこられた諸先輩方に、深甚より感謝し敬意を表するものです。

現在、私たちは混沌とした社会情勢の中にあります。本年 2 月 24 日、ロシアがウクライナに侵攻するという信じがたい大事件が世界を震撼させました。

本議会では、ロシアの軍事侵攻に対する糾弾と即時停戦、平和的解決を求めて意見書・抗議決議を全会一致で採択しました。

また、新型コロナウイルス感染症との格闘は 3 年目に突入し、未だ収束が見通せません。コロナ禍の中で、どのような 100 周年記念行事ができるか、議員間で協議を重ねて「那覇市議会開設 100 周年記念式典」を開催し「100 周年記念決議」を発表しました。

那覇市議会は、たとえどのような時代になろうと、いかなる困難が立ちはたかろうとも、どこまでも市民の生命と財産を守り、更なる社会福祉の向上を目指して、全身全霊でその使命と役割を全うしてまいります。これは、時代を貫く議会の指針であり、議員各位の信念であることを確認するものです。

那覇市の更なる発展を願うとともに、式典に華を添えていただいた那覇市文化協会の皆様をはじめ、行事開催にあたりご協力をいただいたすべての皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

2022 年 3 月

那覇市議会 100 周年記念行事実行委員会

那覇市歌

作詞: 安藤 佳翠(1 番～3 番)

那覇市歌選定委員会(4 番～7 番)

作曲: 宮良 長包

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 あけぼの清き ^{みんなみ} 南 の
港にぎわう ^{ももふね} 百船や
まちはいらかの 数増して
^{いや} 弥栄えゆく わが那覇市 | 4 ^{うまんちゅ} 御万人にぎわう 1 マイル
誇れる ^{しま} 郷土に 笑顔咲く
結の心で とともに生き
平和はぐくむ わが那覇市 |
| 2 みどりも深き ^{おうのやま} 奥武山
めぐる入江の 水なごみ
清き心に 諸人の
むつみしたしむ わが那覇市 | 5 守礼の邦の 城下町
歴史の息吹 受け継がん
万国津梁 ここにあり
あしたをひらく わが那覇市 |
| 3 ゆかりも古き 波の上
あおぐ誠を 捧げもて
理想の自治に 進まなん
^{のぞみ} 希望かがやく わが那覇市 | 6 緑の風の 那覇空港
^{なりわい} 生業薫る 小緑の地
若い力の ^{い き たかし} 意気昂
未来はばたく わが那覇市 |
| | 7 ^{せいしょう} 青松並木の 識名園
^{こころ} 志ゆかしき 真和志の野
遠く海原 夢たくし
世界をつなぐ わが那覇市 |

目 次

— は じ め に —

— 那 覇 市 歌 —

1	那覇市議会100周年記念式典次第	1
2	議長あいさつ	2
3	市長あいさつ	3
4	歴代議長代表ビデオメッセージ	4
5	記念演舞スピーチ・演舞者名簿	6
6	那覇市議会開設100周年決議	11
7	100周年記念式典フォト・ダイジェスト	13
8	議会100年史・パネル展（展示作品一覧）	36
9	議会100年史・パネル展（フォト・ダイジェスト）	57
10	資料	62

令和3年（2021年）11月那覇市議会定例会 及び那覇市議会100周年記念式典

本会議	会 議 の 流 れ
開会前	○開会ブザー（9：55）
開 会	○定例会開会 ※議長による「開会」宣告 ○市長のあいさつ ○日程第1：会議録署名議員の指名 ○日程第2：会期の決定 ※議長による「休憩宣告」
休 憩	【100周年記念式典】 <司会：新垣浩議会議務局次長> ○開会宣言（司会） ○市歌静聴 ○議長あいさつ <u>久高 友弘議長</u> ○市長あいさつ <u>城間 幹子市長</u> ○ビデオメッセージ（歴代議長） ○記念演舞（那覇市文化協会） <u>「かぎやで風」・「浜千鳥」</u>
再 開	※議長による「再開宣告」 ○日程第3：決議案第7号 那覇市議会開設100周年決議 ・提案理由説明 ・質疑 ・討論 ・表決 ※議長による「休憩宣告」
休 憩	○閉会のあいさつ（司会）
休 憩	（式典終了後）15分間休憩
再 開	※議長による「再開宣告」 ○諸般の報告 ○日程第4：意見書案第14号 米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイからの住宅密集地への落下物事故等に関する意見書 決議案第8号 米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイからの住宅密集地への落下物事故等に関する抗議決議 ○日程第5：意見書案第15号 海底火山噴火による噴出した軽石の大量漂着・漂流に関する意見書 ○日程第6：提案理由説明 ○散会



ごあいさつ

那覇市議会議員 久高 友弘

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。

那覇市議会 100 周年記念式典をとりおこなうに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、傍聴席の市民の皆様、市長を初め執行部の皆様にも御参加をいただき、まことにありがとうございます。また、インターネット議会中継により、多くの市民の皆様が、この式典をご覧いただいているものと存じます。心から御礼申し上げます。

また、本来であれば、この記念すべき日を、歴代の議員の皆様と共に喜びを分かち合いたいところでしたが、残念ながら昨今の事情により、ご参加はできませんでした。そこで、本日は、第 26 代議長の唐真弘安 様、第 28 代議長の上原清 様にビデオメッセージをお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただきました。この場をお借りして、ご両名に対し、心より敬意を表したいと存じます。

さて、ご案内のとおり、今年は、大正 10 年（1921 年）に那覇市制が施行されてから、100 周年を迎えます。時を同じくして、我が那覇市議会におきましても、第 1 回目の本会議が同年 8 月 16 日に開かれてから、ちょうど 100 年の節目の年に当たります。

これまでの 100 年の間には、市民の負託を受けた諸先輩方により、この議場において、一般質問や議案審議が行われ、執行部と活発な議論を交わしてまいりました。また、市民から提出された多くの請願・陳情に対しましても、その切実な声を代弁する立場から、委員会審査を中心に、課題解決に向け真摯に取り組んでまいりました。

また、その時代背景、要請に即して提案された意見書、決議の審議の際には、時には口角泡（こうかくあわ）を飛ばしながら、議員間の活発な議論が行われ、多くの歴史的な議決がなされてまいりました。

このように、多くの先人の英知と努力により、去る大戦をはじめとした幾多の苦難を乗り越えながら、二元代表制の一翼を担う議会の歴史が築き上げられてまいりました。

本日は、これまでの歴史を振り返るとともに、これからの未来に向け、さらなる市民福祉の向上・恒久平和等に取り組む決意を発信するため、「那覇市議会 100 周年記念決議」を行うことになっております。

また、このあと那覇市文化協会の皆様に、記念演舞を行っていただきます。今日まで脈々と受け継がれてきた伝統芸能を、この議場で演じていただくことは、100 年の歴史に思いを馳せ、今後の那覇市、那覇市議会に花を添えていただく意味で、大変意義深いことだと考えております。心より感謝申し上げます。

結びに、これからの 100 年を見据え、私たちの子や孫、次代を担う皆様に、この那覇市の将来をしっかりと引き継いでいくため、議員一同、さらに尽力していくことをお誓い申し上げますとともに、市民の皆様、歴代の議員の皆様、歴代の市長をはじめ職員の皆様、那覇市に関わってこられた、すべての皆様に敬意を表し、感謝を申し上げ、私からのご挨拶と致します。

イPPER ニフェーデービル。

ごあいさつ



那覇市長 城間 幹子

はいたい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

「那覇市議会 100 周年記念式典」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本市は、1921 年（大正 10 年）5 月 20 日に市制が施行され、本年で 100 周年を迎えました。

この 100 年の間に、首里市、小禄村、真和志市との合併、沖縄戦とその後の米軍による統治、そして本土復帰と歴史の大きな波にもまれ乗り越え、現在、県都・那覇市は、本県の政治・経済・文化の中心地としてめざましい発展を遂げてまいりました。

また、市政運営の両輪となる那覇市議会においても、歴代の正副議長をはじめ市議会議員の皆様が、たゆまぬ努力と熱意をもって本市の発展にご尽力いただきましたことに、この場をお借りしまして、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

那覇市議会におかれましては、常に活発で先進的な議会運営に取り組まれています。その取組については県内の議会関係者はもとより、県外でも注目を集め、高い評価を受けているものと認識しており、今後更なる改革を進められるものと心より期待申し上げます。私も執行機関も、議会の皆様とともに切磋琢磨し、高めあってまいりたいと存じます。

今日（こんにち）に至る本市の発展は、先達の知恵と経験、那覇を想う心が紡がれてきた証であり、市議会において交わされてきた活発な議論にも先達の英知が凝縮されております。

次の 100 年に向けて、「風格ある県都・那覇市」の歩みがより力強いものとなるよう、市議会の皆様をはじめ、市民の皆様と手を携えながら一層力を尽くしてまいりますので、今後ともゆたさるぐとう うにげーさびら。

結びに、那覇市議会のますますのご発展と、市議会議員ならびに関係者の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、あいさつといたします。

いっぺー にふえーでーびる。

歴代議長代表ビデオメッセージ

○第26代議長 ^{とう ま}唐真 ^{ひろ やす}弘安



皆さん、唐真弘安でございます。

26代議長をさせていただきました。

よろしくお願い申し上げます。

市制100周年を記念し、市民に対し、議会に対し、お祝いの言葉を一言求められておりますので、一言申し上げたいと思います。

本当に、心からお祝いを申し上げる次第であります。

私ども歴代議会議長として、または議員として100年間頑張ってきたみんなを代表して、心から市民に対する感謝を申し上げたいと思います。

いろいろなことが頭に浮かぶのでございますが、私がやっぱり一番記憶に残っている議会中の思い出としては、何といたっても牧港米軍住宅地、今日、広大に広がるあの新都心のまちであります。

あんな大きなまちが那覇市のだ真ん中で米軍基地としてどんと座っておったわけがありますから、これは考えてみても大変な問題だったなと思うのでありますけれども、当時議会でも、何回も何回もみんなを取り上げて、一緒に頑張って開放することができたのであります。

あの当時は米軍住宅地に民間車両を通過させなさいという看板を立てまくって、そして頑張った記憶もございます。

いろいろございますが、時間がございません。

この大きな出来事を申し上げまして、私の記憶に残る言葉、そして最後に、那覇市に対しては、市民に対しては、議会に対しては、市民みんなに開かれた議会、そして市民が愛される議会、みんなが本当に自分の議会だなと実感できるような、開かれた議会にさせていただくことを心からお願い申し上げまして、私のお祝いの言葉にいたしたいと思います。

よろしくお願い申し上げます。

歴代議長代表ビデオメッセージ

○第28代議長 ^{う え は ら} 上原 ^{き よ し} 清



那覇市議会の皆さん、100 周年おめでとうございます。

第 28 代目の議長をやっておりました上原清でございます。

市制施行 100 周年、おめでとうございます。

本日は、那覇市の 100 周年を迎えまして、皆さんにお話することの機会を設けていただきましてありがとうございます。

皆さん方の今後の那覇市政発展のために、御参考になればと思い、発言をさせていただきます。

まず最初に、那覇市の戦後復興を図っていくとき、大きな問題になりましたのが、いわゆる戦後処理であるつぶれ地の補償問題でありました。

那覇市の学校用地買い上げ問題がありました。

教育の発展をしていく意味からも、どうしてもこのつぶれ地の用途を解決しなければいけない状況にありましたので、そのことも取り組んだ思い出がございます。

それから都市第 1 地区の、住宅地区の改良事業、各地域の住民の方々の説得、御協力、あるいは議会の協力を得て遂行することができましたことは、思い出に残っております。

それから若夏国体、それも那覇市のかかわる事業等に、成功させるために、いろんな施設の協力をいただいて、何とか終わらすことができたことを思い出として出ております。

それから、那覇市の議会議長という 28 代目の議長に仰せつかったときに、各九州の議長さんの御協力をいただいて、九州市議会議長会の会長に選任をされまして、沖縄地区で大会をやった経緯もあります。

その中で、特に訴えましたのは、空港路線への接続道路として、糸満の西崎の埋立、それから豊見城市の埋立、そこに来る空港へのバイパス道路、どうしても建設を実現させなければいけないということで、九州議長会、全国議長会でそれを決議したということの思い出が残っております。

いわゆる沈埋トンネルを要請して、何とか実現させた思い出もございます。

それから、本日は那覇市の将来のために、何とか前進させていただきたいというのは、日本の南の玄関口をリードしていく、県と那覇市が作り上げていくためには、現在的那覇市の状況の人口、あるいは広域面積等々から考えて、政府を動かす力にはなかなか難しい点があると。

できましたら、浦添市、豊見城市、南風原町を含めた政令都市化を目指すべきではないかと。私も、一応、経験した中から、そのように思ってる次第であります。

そういうことで、今日こういう御発言する機会がございまして、大変感謝を申し上げているところでございます。

那覇市議会の皆さん、100 周年おめでとうございます。

那覇市議会 100 周年記念式典記念演舞



進行：那覇市文化協会 会長 **崎山 律子**

ご紹介を頂きました那覇市文化協会の崎山律子と申します。

今日は、こうして那覇市で 100 周年、那覇市議会の 100 周年のこの場所で演舞ができますこと、一同大変感激しております。

本日の2題、地謡を務める皆さんに登場してもらいますので、大きな拍手でお迎えいただきたいと思います。

改めてお一人ずつご紹介させていただきます。

まず、人間国宝で琉球古典音楽・野村流伝統音楽協会、中村一雄、歌三線を担当致します。

同じく歌三線、琉球古典音楽・安富祖流絃聲会、照喜名進、箏・琉球箏曲保存会、赤嶺和子、太鼓は人間国宝で光史流太鼓保存会、比嘉聰、以上の皆さままでございます。

本来でしたら沖縄のオーケストラは、このメンバーに笛と胡弓(くうちょう)が付きますけれども、今回、舞台の関係もございまして4人に絞らせていただきました。ご了解ください。

そして、何といっても沖縄では、古典音楽、古典舞踊のかぎやで風で幕開けでございます。このかぎやで風は、書くときは「かぎやで風」と書きますが、表音と表記が異なるのが沖縄の文化です。読むときは、「かじゃでい風」と読んでいただきたいと思います。

そして、琉球古典音楽の特徴に一つの曲想に様々な琉歌を詠んで、私たちの先人たちは、この芸術を楽しんだようです。

この「かじゃでい風」にもいくつかの琉歌がございすけれども、本日はもっとも皆さまがよくご存じの、今日の誇らしや(キユヌフクラシャヤ)、何にぎやな譬る(ナウニジャナタティル)、蕾で居る花の(ツィブディウルハナノ)、露行逢たごと(ツィユチャタグトゥ)、この句で歌い踊りたいと思います。この句がなぜ素晴らしいのか、なぜ沖縄の人たちは、この何百年もの間、この音楽を大切にしていたのか、実はこの句の中に沖縄の先人たちの哲学、美学が集約されております。

沖縄の人たちは人生最大の喜びを、今日の喜びを満開の花に例えるのではなくて蕾の花が朝露をうけて、パッと花開くような大いなる心持ちだと表現しているのです。この素晴らしさに感銘をうけまして、完成されたものよりも未完

のものが完成へと行動する。この動きこそが、最も尊く素晴らしいと言っているのです。この精神こそ私たちが受け継いでいかなければいけないものではないかと思います。あわせてむしろその時代からSDGsの発想がここにございます。この蕾の花は朝露をうけているのです。自然との一体感も含めてこんなに素晴らしい内容の文学はないと私は思っております。ですから、ことあるごとに私たち沖縄県、そして、那覇市にこの「かじゃでい風」を大切に継承していきたいと思ひます。

それでは、早速本日の立方の皆さんをご紹介致します。今日は、男女ペアの打組（うちぐみ）でお送りします。

まず、士族、パーチン（親雲上）姿で踊りますのは、島袋流千尋会家元、島袋君子、古典芸能部会の部会長を務めております。そして、ウミナイブの姿で紅型の衣装で臨みますのは、真踊流 佳紀の会 会主 安次富紀子、真踊流の代表も務めております。そのご両人による抑制美（よくせいび）の効いた格調高い古典舞踊「かじゃでい風」でございます。



古典舞踊「かじゃでい風」でございました。老人踊りで踊ったり、あるいは、孫も合わせて3世代で踊ったりと、様々なバリエーションがあります。古典舞踊の「かじゃでい風」でございました。

さあ、時は流れ 1879 年、琉球処分で琉球藩は無くなりました。その後、この首里城で育まれてきた古典舞踊、そして組踊、古典音楽といったものは、やがて首里ですと「寒水川（スンガー）芝居」で、あるいは思案橋や中道ハタモーに芝居小屋ができて、そこで組踊や古典芸能といったものが上演されるようになります。やがて多くの人々のリクエストによって新たな踊りが創られました。それが、雑踊り（そうおどり）です。首里士族を主人公にした古典舞踊と対照的に市井の人々、漁村の男女の姿や、あるいは農村の姿、いろいろな市井の人々の姿がテーマになったのが雑踊りでございます。その雑踊りの中でも本

日選びましたのは、もっとも祭祀（さいし）舞踊に近い「浜千鳥（別名：チジュヤー）」という踊りです。これは、この曲想も含めて、遠くへ行った人たちの旅愁（りょしゅう）がテーマになっております。とりわけ、戦前、貧しい中で南洋諸島に渡ったり、あるいは、ハワイやブラジル、本土に出稼ぎへ行った人たちにとってこの歌や踊りは、故郷そのものを懐かしむ歌であり、そして、踊りでした。

その浜千鳥、支度は琉装で行います。琉装というのは、独特の琉球女性の着付けになります。琉球絣（りゅうきゅうがすり）という琉球藍で深く染め上げたクンジー絣をウシンチーという帯を使わない着こなしで踊ります。この琉装にもご注目頂きたいと思います。そして、うちな一頭（からじ）を結い上げて額に紫の長巾（ながさーじ）を結んでキリッと踊ります。

この踊りは、先ほどテーマが旅愁といいましたけれども遠く故郷を離れた人たちにとって島に残した家族のこと、愛しい人のことを想いながら流れる旋律が美しいです。そして、あの月もあの人は眺めているのだろうかという抒情（じょじょう）豊かに踊られる踊りでございます。特に注目頂きたいのは、沖縄の踊りは、コネリ（手をこねるようなしぐさ）・ナヨリ（なよやかな体の動き）と言いました。特に拝み手、コネリ手、押す手、この手踊りに特徴を見せるのが、この浜千鳥の音楽でございます。

それでは、ご紹介いたしましょう。

立方の皆さんをお一人ずつご紹介いたします。クンジー絣（紺地の絣）に紫の長サージが印象的でございます。登場してまいりました。

まず、玉城流玉扇福珠会 会主 玉城静江、玉城流扇寿妙の会 会主 比嘉美好、玉城流扇寿聖乃会 会主 金城光子、玉城流翔節暁の会 会主 我那覇則子、4人の皆さんで踊ります。

それでは、浜千鳥ご覧いただきましょう。



それでは立方の皆さまご登場ください。

今日は特別編成でお送りいたしました。私たちの大先輩でございます豊平良顕先生が、終戦直後の首里の丘に子供たちを集めてこう言いました。

「下を向いて歩け」、そうなんです。下には、有形の文化財の欠片（カケラ）が沢山残っていたのです。それを子供たちと共に拾い集め一つ一つ復興に取り組みました。私たちは那覇市、この 100 年をしっかりと直視し、その美しいときも悲しいときも苦しいときも直視しながらこれから先の 100 年を皆さんと一緒に文化創造に満ちた那覇市を造り上げて行きたいと思います。

本日は皆さまありがとうございました。



令和3年(2021年)11月那覇市議会定例会及び
那覇市議会100周年記念式典

日時 令和3年11月26日
場所 那覇市議会議事堂

重要無形文化財琉球舞踊保持者

立方

かぎやで風

あしとみのりこ
安次富紀子 (琉球舞踊 しんよう 真踊流 よしき 佳紀の会 会主)

しまぶくきみこ
島袋君子 (島袋流 ちひろ 千尋会 家元)

浜千鳥

きんじょうみつこ
金城光子 (玉城流扇寿聖乃会 会主)

ひがみよし
比嘉美好 (玉城流扇寿妙の会 会主)

たまぐすくしずえ
玉城静江 (玉城流玉扇福珠会 会主)

がなはのりこ
我那覇則子 (玉城流翔節 しょうせつあかつき 暁の会 会主)

地謡

歌三線

なかむらいちお
中村一雄 (野村流伝統音楽協会) 人間国宝

てるきなすすむ
照喜名進 (安富祖流絃聲会)

箏

あかみねかずこ
赤嶺和子 (琉球箏曲保存会)

太鼓

ひがさとし
比嘉聰 (光史流太鼓保存会) 人間国宝

スタッフ

那覇市文化協会事務局 野原巴
那覇市文化協会写真部会 喜名朝駿

那覇市議会開設 100 周年決議

このことについて、別紙のとおり議会の議決を得たいので提出する。

令和 3 年（2021 年）11 月 26 日提出

提出者

那覇市議会議員

野 原 嘉 孝	與 儀 喜 邦
當 間 安 則	前 泊 美 紀
古 堅 茂 治	上 里 直 司
奥 間 亮	多和田 栄 子
翁 長 俊 英	

（提案理由）

本市議会開設 100 周年にあたり、これまでの幾多の困難を乗り越え、今日の那覇市の発展と議会活動の進展に尽くされた諸先輩の尊い歩みと功績に、深甚なる敬意と謝意を表するとともに、これからの那覇市の発展、恒久平和のために全力を尽くし、もって市民の負託に応えることを新たに誓うため、この案を提出する。

那覇市議会開設 100 周年決議

那覇市は、かつて琉球王府が存する万国津梁の交流拠点として、アジア諸国との交易で栄え、独自の文化圏を形成した。明治の廃藩置県後、他府県に遅れて大正 10 年（1921 年）に市制施行となり、那覇市議会が設置されて以来、幾多の苦難を乗り越え、課せられた責務を果たし、100 年の道のりを歩んできた。

特に、76 年前の沖縄戦は、住民を巻き込んだ激しい地上戦の戦場となり、本市と沖縄の山容を変え、首里城をはじめとする文化遺産のほとんどを破壊し、20 数万人余の尊い人命を奪い去った。

その後、27 年間に及ぶ米国占領におかれ、昭和 47 年（1972 年）の本土復帰により、日本国憲法及び地方自治法が適用される自治体及び議会として再出発し、二元代表制の一翼を担い、市民の福祉の向上と市政の発展に力を尽くしてきた。

那覇市議会は、これまでの幾多の困難を乗り越え、今日の那覇市の発展と議会活動の進展に尽くされた諸先輩の尊い歩みと功績に、深甚なる敬意と謝意を表するものである。

那覇市議会は、100 周年にあたり、「那覇市議会基本条例」を指針に、市民と行政の架け橋となる「地方自治の津梁」たるべく、議会及び議員としての不断の努力を通して、市民生活の福祉向上と県都・那覇市の発展、恒久平和のために全力を尽くし、もって市民の負託に応えることを新たに誓うものである。

以上、決議する。

令和 3 年（2021 年）11 月 26 日

那覇市議会

那覇市議会 100 周年記念式典 フォト・ダイジェスト





開会宣言（司会：新垣 浩 議会事務局次長）



那覇市歌静聴



コロナ感染予防のため、声を出さずに心の中で歌います



議長あいさつ 久高 友弘 議長







市長あいさつ 城間 幹子 市長







歴代議長代表 ビデオメッセージ 唐間 弘安 第26代議長







歴代議長代表 ビデオメッセージ 上原 清 第28代議長







記念演舞進行：那覇市文化協会 崎山 律子会長







「かぎやで風」







「浜 千 鳥」









～御出演 大変にありがとうございました～





華を添えていただいた那覇市文化協会の皆さまに感謝



那覇市議会開設 100 周年決議 野原 嘉孝 副議長





閉会宣言（司会：新垣 浩 議会事務局次長）



記念演舞を終えた那覇市文化協会の皆さま



令和3年（2021年）12月22日

100周年記念定例会 最終本会議を終えて

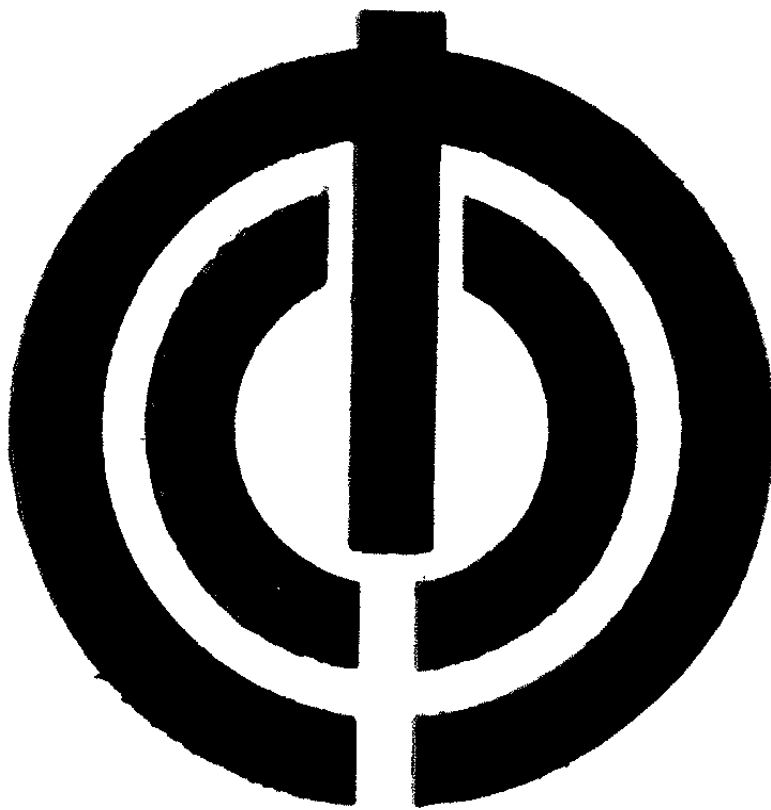
那覇市議会100周年記念「集合写真配置図」

※（ ）は当選回数

※（ ）は当選回数											
		普久原朝日 (1)	金城亮太 (1)	吉里明 (1)	與儀喜邦 (1)	宇根良也 (1)	花城典史 (1)	比嘉啓登 (1)	瀬名波奎 (1)		
	山田マドカ (1)	幸地わかえ (1)	大山たかお (2)	吉嶺努 (2)	上原仙子 (2)	西中間久枝 (2)	奥間綾乃 (2)	金城直子 (1)	糸数貴子 (1)	外間有里 (1)	
奥間亮 (3)	多和田栄子 (4)	平良識子 (5)	古堅茂治 (5)	我如古一郎 (6)	屋良栄作 (7)	山川典二 (6)	糸数昌洋 (6)	前田千尋 (5)	清水磨男 (5)	上原快佐 (3)	當間安則 (2)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	湧川朝涉 (8)	大城幼子 (3) 教育福祉 委員長	前泊美紀 (4) 総務 委員長	栗國彰 (3) 議会運営 委員長	久高友弘 (10) 議長	野原嘉孝 (4) 副議長	坂井浩二 (4) 予算決算 委員長	上里直司 (4) 都市建設環境 委員長	中村圭介 (3) 厚生経済 委員長	翁長俊英 (7)	

那覇市議会100年史 パネル展

1921（大正10）年 ～ 2021（令和3）年



大正10年12月19日制定。
ナハの字を円形に図案化し、無限に膨張発展していく那覇市の姿を表したもの。
当時の収入役・高良盛慶が製作。

歴代正副議長

那覇市

議長

初代



黒木 一二
(大正10. 8～大正13. 3)

2・3代



金城 紀光
(大正13. 6～大正14. 4)
(大正14. 7～昭4. 6)

4代



花城 永渡
(昭和4. 7～昭和8. 6)

5代



麓 純義
(昭和8. 7～昭和10. 2)

6代



安慶名 徳潤
(昭和10. 2～昭和12. 6)

7代



長野 時之助
(昭和12. 7～昭和17. 6)

8代



富山 徳潤
(昭和17. 6～昭和19. 6)

9代



宮里 良永
(昭和19. 6～昭和20終戦)

10代



具志頭 得助
(昭和23. 9～昭和25. 9)

11代



真栄田 世勲
(昭和25. 9～昭和29. 9)

副議長

初代



与那原 良眞
(大正10. 8～大正14. 4)

2代



伊藤 雅二
(大正14. 7～昭和4. 6)

3・4代



長野 時之助
(昭和4. 7～昭和8. 6)
(昭和8. 7～昭和12. 6)

5代



仲本 政春
(昭和12. 7～昭和17. 6)

6代



宮里 良永
(昭和17. 6～昭和19. 6)

7代



宇良 宗樽
(昭和19. 6～昭和20終戦)

8代



仲井真 元楷
(昭和23. 9～昭和25. 9)

9代



城間 康昌
(昭和25. 9～昭和29. 9)

10・11代



長嶺 将真
(昭和29. 10～昭和30. 8)
(昭和30. 11～昭和32. 6)

12代



渡口 麗秀
(昭和32. 9～昭和36. 8)

議長

12・13代



泉 正 重

(昭和29.10～昭和30.8)
(昭和30.11～昭和32.6)

14・15・16代



高 良 一

(昭和32.9～昭和36.8)
(昭和36.8～昭和40.8)
(昭和40.8～昭和44.8)

17代



辺野喜 英 興

(昭和44.8～昭和47.6)

18・19代



比 嘉 佑 直

(昭和47.6～昭和48.8)
(昭和48.8～昭和52.8)

20代



金 城 重 正

(昭和52.8～昭和56.8)

21代



島 袋 宗 康

(昭和56.8～昭和57.3)

22代



金 城 重 正

(昭和57.3～昭和58.11)

23代



大 浜 長 弘

(昭和58.11～昭和60.8)

24代



屋 宜 宗 一

(昭和60.8～昭和62.8)

25代



友 利 玄 雄

(昭和62.8～平成元.8)

副議長

13代



大 山 盛 幸

(昭和36.8～昭和40.8)

14代



辺野喜 英 興

(昭和40.8～昭和44.8)

15代



仲 本 安 一

(昭和44.8～昭和48.8)

16・17代



大 浜 長 弘

(昭和48.8～昭和52.8)
(昭和52.8～昭和56.8)

18代



友 利 玄 雄

(昭和56.8～昭和57.2)

19代



大 浜 長 弘

(昭和57.3～昭和58.11)

20代



屋 宜 宗 一

(昭和58.12～昭和60.8)

21代



森 田 重 男

(昭和60.8～平成元.8)

22代



中 村 昌 信

(平成元.8～平成5.8)

23代



大 城 勝 夫

(平成5.8～平成9.8)

議長

26代



唐 真 弘 安
(平成元. 8～平成5. 8)

27代



安 里 安 明
(平成5. 8～平成9. 8)

28代



上 原 清
(平成9. 8～平成11. 8)

29代



亀 島 賢 優
(平成11. 8～平成13. 8)

30代



我那覇 生 隆
(平成13. 8～平成17. 8)

31代



久 高 将 光
(平成17. 8～平成19. 8)

32代



安慶田 光 男
(平成19. 8～平成21. 8)

33代



金 城 徹
(平成21. 8～平成23. 8)

34代



永 山 盛 廣
(平成23. 8～平成25. 8)

35代



安慶田 光 男
(平成25. 8～平成26. 12)

副議長

24代



仲 本 嘉 公
(平成9. 8～平成11. 8)

25代



瀬良垣 武 安
(平成11. 8～平成13. 8)

26代



高 里 鈴 代
(平成13. 8～平成16. 10)

27代



久 高 友 弘
(平成16. 12～平成17. 8)

28代



松 田 義 之
(平成17. 8～平成19. 8)

29代



崎 山 嗣 幸
(平成19. 8～平成20. 5)

30代



大 浜 美早江
(平成20. 6～平成21. 8)

31代



翁 長 俊 英
(平成21. 8～平成25. 8)

32代



糸 数 昌 洋
(平成25. 8～平成27. 8)

33代



古 堅 茂 治
(平成27. 8～平成29. 8)

議長

36代



金城 徹

(平成26. 12～平成28. 10)

37・38代



翁 長 俊 英

(平成28. 10～平成29. 8)
(平成29. 8～令和元. 8)

39・40代



久 高 友 弘

(令和元. 8～令和3. 8)
(令和3. 8～現在)

副議長

34代



金城 眞 徳

(平成29. 8～令和元. 8)

35代



桑 江 豊

(令和元. 8～令和3. 8)

36代



野 原 嘉 孝

(令和3. 8～現在)

首里市

議長

初代



當 眞 嗣 合

(大正10. 8～大正14. 7)

2代



久 高 友 輔

(大正14. 8～大正15. 9)

3・4代



栗 國 永 傳

(大正15. 9～昭和4. 7)
(昭和4. 8～昭和8. 7)

5代



玉 城 尚 秀

(昭和8. 8～昭和12. 7)

副議長

初代



尚 琳

(大正10. 8～大正14. 7)

2・3代



玉 城 尚 秀

(大正14. 8～昭和4. 7)
(昭和4. 8～昭和8. 7)

4代



山 口 房 良

(昭和8. 8～昭和12. 7)

5代



宮 城 康 太 郎

(昭和12. 8～昭和15. 5)

議長

6代



城間理王
(昭和12.8～昭和17.6)

7代



伊豆見元永
(昭和17.6～昭和20終戦)

8代



儀武息睦
(昭和23.8～昭和24.9)

9代



松本完可
(昭和24.10～昭和25.9)

10代



久高友敏
(昭和25.9～昭和29.8)

副議長

6・7代



徳村政輝
(昭和15.6～昭和17.6)
(昭和17.6～昭和20終戦)

8代



渡嘉敷宗賀
(昭和23.8～昭和24.9)

9代



玉那覇有喜
(昭和24.10～昭和25.9)

10代



大山盛幸
(昭和25.9～昭和29.8)

小禄村

議長

初代



上原良源
(昭和23.9～昭和25.5)

2代



平良雄一
(昭和25.5～昭和25.9)

3代



照屋林
(昭和25.10～昭和28.2)

4代



赤嶺慎英
(昭和28.2～昭和29.8)

副議長

初代



平良雄一
(昭和23.9～昭和25.5)

2代



新垣次郎
(昭和25.5～昭和25.9)

3代



赤嶺慎英
(昭和25.10～昭和28.2)

4代



照屋正徳
(昭和28.2～昭和29.8)

真和志村・市

議長

初代



大 城 三 郎
(昭和23. 8～昭和 25. 9)

2代



新 垣 正 栄
(昭和25. 10～昭和29. 9)

3代



森 田 孟 松
(昭和29. 9～昭和32. 12)

副議長

初代



宮 里 栄 輝
(昭和23. 8～昭和25. 9)

2代



山 田 英 盛
(昭和25. 10～昭和29. 9)

3代



奥 浜 清 吉
(昭和29. 9～昭和31. 2)

4代



金 城 貞 秀
(昭和31. 3～昭和32. 12)

みなと村

議長

初代



友 寄 隆 保
(昭和23. 9～昭和 25. 7)

副議長

初代



宇 久 真 成
(昭和23. 9～昭和25. 7)

歴代
那覇市長



第1代
当間 重慎



第2代
麓 純義



第3代
岸本 賀昌



第4代
小嶺 幸慶



第5代
照屋 宏



第6代
金城 紀光



第7・10・15代
当間 重剛



第8代
崎山 嗣朝



第9代
富山 徳潤



臨時
兼島 景義



第11代
東恩納 寛仁



第12代
仲本 為美



第13代
当間 重民



第14代
又吉 康和



第16代
瀬 亀次郎



臨時市長
東江 誠忠



第17代
兼次 佐一



第18・19代
西銘 順治



第20・21・22・23代
平良 良松



第24・25・26・27代
親泊 康晴



第28・29・30・31代
翁長 雄志

歴代
みなと村
市長



第1・2代
國場 幸太郎

歴代 首里市 市長



第1代
高嶺 朝教



第2代
仲吉 朝助



第3代
久高 友輔



第4代
太田 朝敷



第5代
高安 玉兎



第6代
伊豆味 元永



第7代
仲吉 良光



第8代
小湾 喜長



第9代
兼島 由明



歴代 真和志市 市長

第1代
城間 岩太



第2・3・4・5・6代
真栄城 守行



第7代
玉城 常和



第8代
金城 和信



第9・11代
翁長 助静



第10代
宮里 栄輝



第1・4・5・6・9代
上原 義弘



第2・3代
上原 興永

歴代 小禄村 市長



第7代
金城 善栄



第8代
上原 三郎



第10・11代
長嶺 秋夫



第12代
長嶺 良松

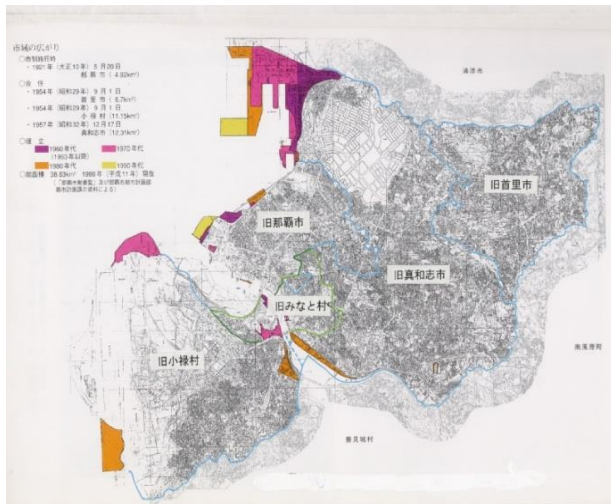
戦前期



大正6年に新築着工した区公会堂「沖縄県那覇市版 三州コロタイプ7月号」
(野々村孝男氏提供)
区公会堂の1階には議場が設備された。
これまでは市役所や小学校等で議会は開かれていた。



昭和9(1934)年6月に公会堂で開会された那覇市臨時会
「沖縄県那覇市版 三州コロタイプ7月号」(野々村孝男氏提供)



合併当時の那覇市、首里市、真和志市、みなと村の全体地図。



昭和6年から昭和10年頃の那覇市議会議員と照屋宏市長
(前列中央)
「沖縄県人物風景写真帖」



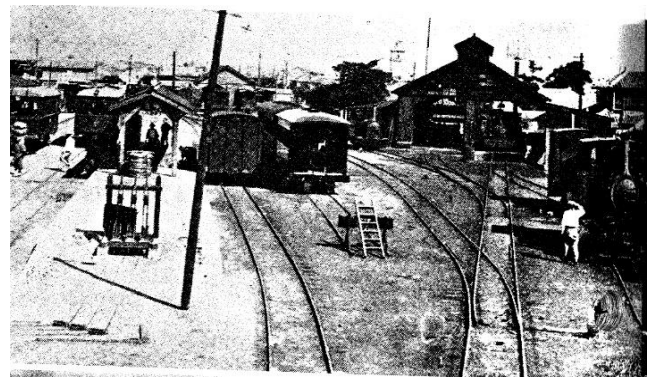
首里三カ崎山・赤田・鳥小堀、大正14年
(『那覇市史 通史篇第2巻』グラビア)



戦前、那覇市上水道水源地及水道調査する那覇市議会議員
「沖縄県人物風景写真帖」



那覇市制施行祝賀行事。通堂通りで大綱引きがあり、旗頭を持って庁舎付近の通りで氣勢をあげている。（『那覇百年のあゆみ』P50）



昭和15年頃的那覇駅構内（「那覇市制50周年記念誌」P26）（「那覇市勢要覧」1967年 P7）

十・十空襲



十・十空襲 1944年10月10日 那覇市の90%が焼失した（『那覇市制50周年記念誌』P19）

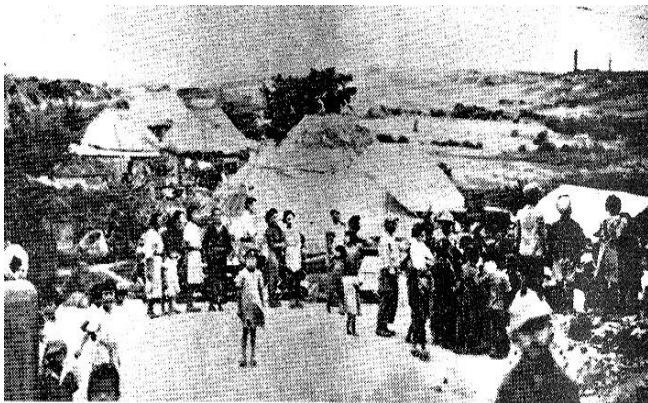
戦後・米国統治期（合併前）



激戦の跡 首里龍潭周辺
（『那覇市制50周年記念誌』P20）



日本軍や住民多数が小禄の仮収容所に収容され、サトウキビをかじって飢えをしのぐ。昭和20年6月。（『小禄村誌』P55）



入市当時の壺屋風景 那覇市の戦後のスタートとなった
（『那覇戦後50年』P14）
1945（昭和20）年11月10日 那覇市の復興にあたるため先遣隊103人が壺屋に移住した。



1948（昭和23）年
丘の上に戦後最初の瓦ぶきの小禄村役場を米軍基地からの廃材やチリ捨て場の廃物で建設した。
どこよりも早い瓦ぶきの庁舎建築だった。
（『小禄村誌』P47）



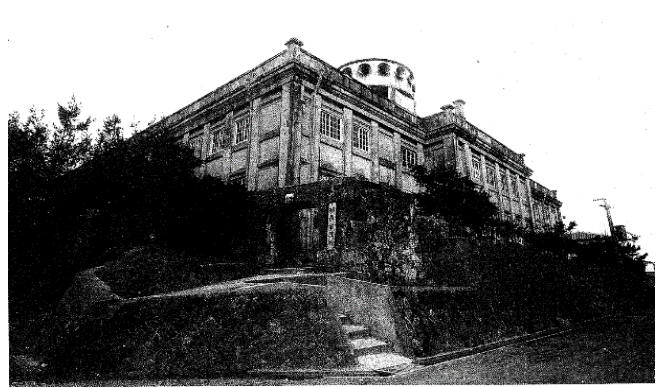
（『那覇市水道五十年史』P111）
1949年頃
の那覇市場通り



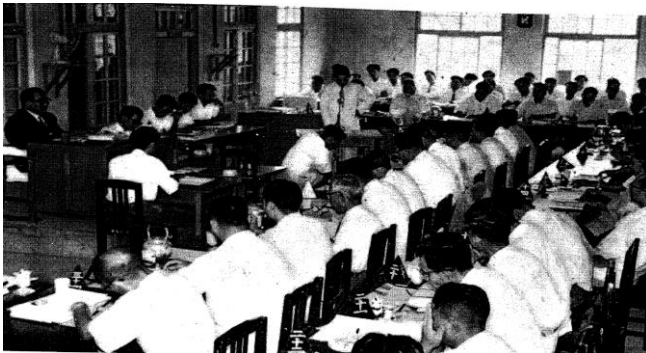
1950（昭和25）年8月31日、改築された市庁舎で。
市議会議員・職員・当間 重民 市長。
表札は横文字



1949年旧一高女跡地が開放され同年栄町ができた。真和志の中心となった。
写真は、1957年頃の栄町市場。
(『那覇百年のあゆみ』P153)



1953（昭和28）年 戦前の天妃国民学校に市庁舎を移転。新庁舎が建設される1965年9月10日までの12年間市庁舎に使われた。議会は職員室で行なわれた。屋上に1960年に兵庫県より寄贈された「やまびこの鐘」が見える。
(『那覇戦後50年』P26)



昭和34（1959）年の市議会風景



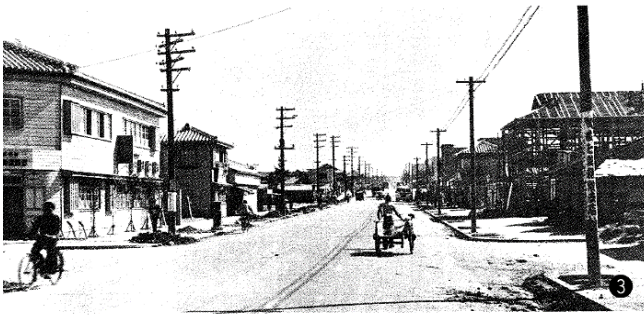
1954年、合併直前の首里市議会議員
(首里市役所玄関前)



戦後すぐの首里市役所



1950年1月に落成した真和志村役所



1954（昭和29）年拡幅工事が完了した牧志街道（国際通り）（『那覇市勢要覧 戦後50年特集』1994年 P26）



1954年8月、合併直前の小禄村会議員と長嶺 良松 村長



合併前の真和志市安里三叉路付近の繁華街（『真和志市誌』グラビア）



1954（昭和29）9月に当選した真和志市議会議員（1955年撮影）



1957（昭和32）年10月 琉球政府により引渡しを拒否された総評からの資材を視察する瀬長市長（『那覇戦後50年』P32）



瀬長 亀次郎 市長 不信任案を再度可決する市議会
1957. 11. 25（『那覇戦後50年』P32）

米国統治期（合併後）



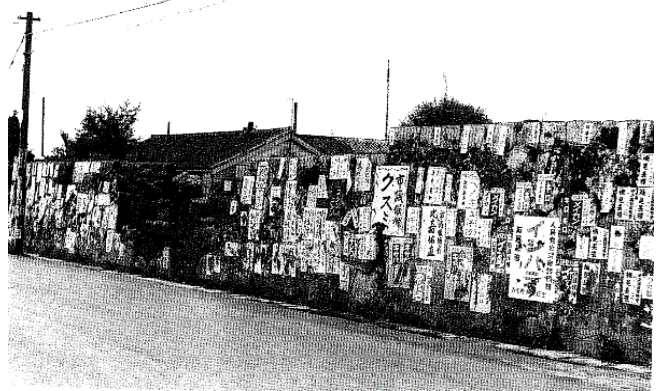
1957（昭和32）年12月17日 那覇市・真和志市との合併で「真和志市役所」から「那覇市真和志支所」へ表札の取り替えを行なう東江誠忠臨時那覇市長と翁長助静真和志市長（『那覇戦後50年』P29）



1960年代前半までは、荷馬車と自動車の共存時代。ごみ処理車やし尿処理車として馬車が太い活躍した。1967年には市でオムロン製の付のごみ収集車として馬車が太い活躍した。
（『那覇市勢要覧 戦後50年特集』1994年 P24）



1961（昭和36）年4月15日 泊浄水場拡張工事を審議する那覇市議会、会期延長をめぐって荒れ、26日までの11日間会期延長を賛成多数で可決。（「琉球新報社」提供）



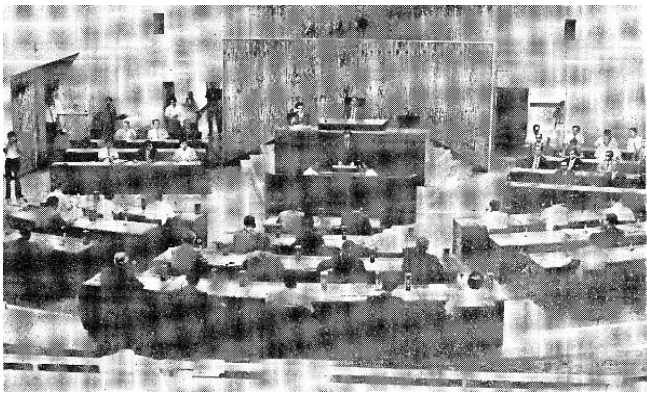
ところ狭しと貼られた那覇市議選のポスター 1961.7
（『那覇戦後50年』P45）



1963（昭和38）年5月
異常干ばつ／井戸で順番を待つ人々
（『那覇戦後50年』P45）



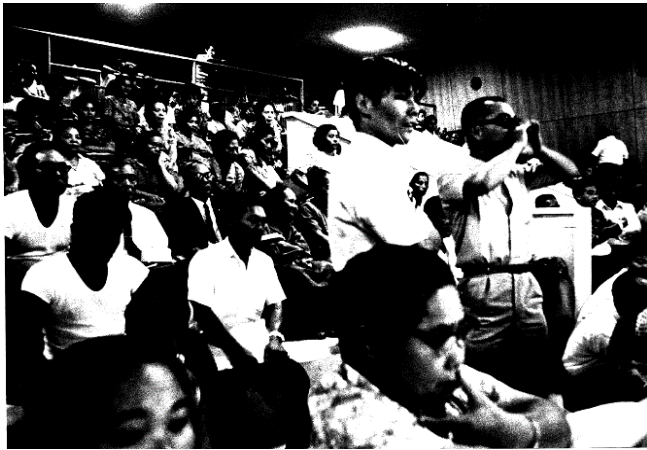
1965年9月10日に落成した那覇市役所本庁



1965（昭和40）年9月30日 新装になった議場で初議会
（第76回定例会）（「那覇市議会報」第65号）



1967（昭和42）年9月20日、上間発電所予定地を現場視察
する那覇市議会議員（「琉球新報社」提供）



1969（昭和44）年9月20日 那覇市定例会一般質問で、牧
志公設市場移転問題をめぐり
市当局と野党議員間で激しいやり取りが行われ、傍聴に押
しかけた移転反対者が騒ぐなど、
議場はやじと怒号で一時議会が中断するほど荒れた。
（「琉球新報社」提供）

復帰後



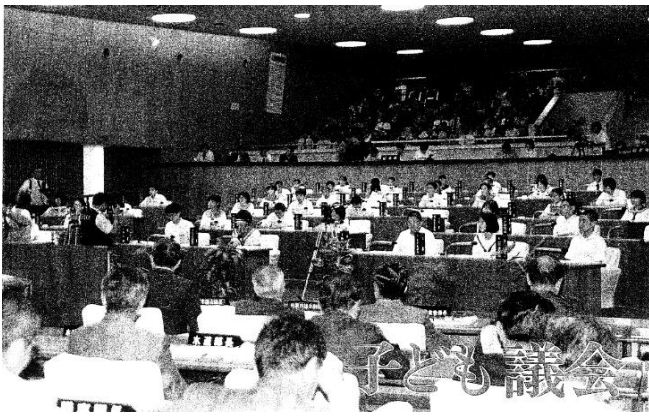
昭和47（1972）年5月15日 沖縄復帰記念式典（那覇市民
会館）（『那覇戦後50年』P50）



琉海ビル陥没事故 1973. 11. 25
（『那覇戦後50年』P55）



小禄マタイ幼稚園の不発弾事故 1974. 3. 2
（『那覇戦後50年』P52）



平成3（1991）年5月16日 那覇市の子ども議会が、市制70周年記念事業として21世紀を担う市内の中学生に市政や市議会についての関心と理解を深めてもらうために開催された。
市内の19校（市立17校、私立2校）から推薦された44人が、唐真那覇市議会議長から子ども議員に委嘱され、現職の議員と同様に市議会活動を行なった。
（「那覇市議会だより」第103号）



平成3（1991）年9月27日～10月6日 那覇港湾施設返還要請で市長と共に訪米。
市議会を代表して唐真 議長、中島 徳良、新崎 真次郎 議員が参加し、パッツィー・ミンク下院議員に要請
（「那覇市議会だより」第102号）



平成3（1991）年 返還された牧港米軍住宅地が更地になり、新都心建設に着手
（「那覇市勢要覧 市制70周年記念事業特集」1991年P9）



平成4（1992）年3月9日 那覇市議会議事堂の扁額除幕式
市制70周年・友好都市締結10周年を記念して、製作を福州市に依頼。
作者は朱棠溪（しゅとうけい）。
（「那覇市議会だより」第107号）



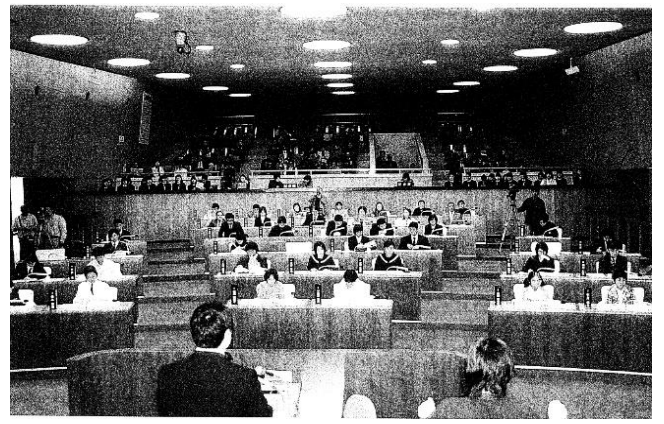
平成11（1999）年4月9日 新都心の町界町名問題で現地視察する那覇市議会



平成11（1999）年9月議会 「トロピカルウエア」を着用して本会議（「那覇市議会だより」第140号）



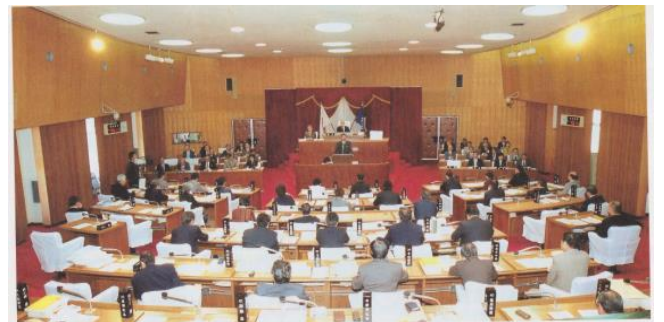
平成11（1993）年10月18日 那覇市議会議員がパレットくもじ前で台湾大地震救援募金活動を実施。



平成14（2002）年2月6日 市制80周年記念事業の一環として、すべての世代を網羅する「市民議会」を開催。市内在住の小・中・高生及び大学生・一般から公募で43人を市民議会議員として選出。



平成15（2003）年3月7日 那覇市議会ホームページを開設（「那覇市議会だより」第155号）



平成15（2003）年3月議会



平成18（2006）年5月 那覇市議会チームが那覇ハーリーに初出場。
浦添、豊見城市議会チームと競う
（「那覇市議会だより」第169号）



平成15（2003）年8月10日 都市モノレール開通。モノレール首里駅前（「那覇市議会だより」第156号）



昭和40（1965）年9月10日新築され、平成21（2009）年9月頃まで使用された旧庁舎。
市議会は3階。



歴代正副議長も出席した市議会 本会議場の閉場式（平成21年（2009年）「那覇市議会だより」第183号）



平成21（2009）年9月8日、老朽化に伴う立て替えのため、那覇市上之屋の仮庁舎に移転する市議会議場の閉場式を行うと共に、「議事堂」の扁額の降納式も行なわれた。（平成21年（2009年）「那覇市議会だより」第183号）



平成21（2009）年12月～平成24（2012）年12月 上之屋の仮庁舎（プレハブ）C棟2階の議場で定例会が行われた。（会議の様様「那覇市議会だより」第193号）



平成22（2010）年4月3日 沖縄セルラースタジアム那覇（奥武山野球場）が落成。この年、興南高校が甲子園・春夏連覇を果たしました。（「那覇市議会だより」第185号）



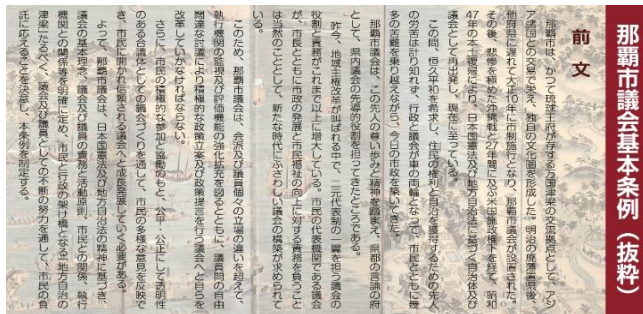
平成23（2011）年3月 東日本大震災で被災された方への支援を那覇市議会議員全員で呼びかけた。（パレットくもじ前）



平成25（2013）年1月4日新庁舎オープン。



平成25（2013）年1月9日 新庁舎が落成し、那覇市議会の「議場会場式」が執り行われた。議場は円形型で那覇市の市章を模している。（「那覇市議会だより」第197号）



那覇市議会基本条例(抜粋)
（平成25年（2013年）「那覇市議会だより」第198号）



中核市移行記念式典であいさつする永山 盛廣那覇市議会議長（平成25年（2013年）
「那覇市議会だより」第199号）



令和元（2019）年6月16日 第一牧志公設市場が老朽化による建て替えのため閉場しました。昭和25（1950）年の開設から長年、地域に親しまれ、市民の台所として愛されてきた市場でした。



市内5会場で開催した第13回 議会報告会及び市民との意見交換会（写真は沖縄大学の様子）
（令和2年（2020年）「那覇市議会だより」第228号）



平成4（1992）年、復帰20周年目に首里城は復元されました。平成31（2019）年1月「御内原（おうちばら）」が完成し一連の公園整備計画を完了した矢先の同年10月31日未明、首里城は炎上し、大きな悲しみがかんたを覆い尽くしました。那覇市議会はほとんどの議員が委員会視察で県外に出張中でしたがあとの日程をすべてキャンセルして全議員がその日のうちに那覇に戻りました。翌朝には各派代表者会を開いて対応を協議、11月6日の臨時議会では国に対して首里城の早期再建と御茶屋御殿など歴史的文化遺産の復元整備を求める意見書を全会一致で採択し、その後の取り組みに力を合わせて臨みました。
 【写真は、同年1月撮影】



令和元年（2019年）11月11日、首里城火災を受け、菅官房長官（当時）に要請。



旧市民会館は、昭和45（1970）年に完成し、本市の文化、伝統芸能の振興発展に大きく寄与してきました。平成28（2016）年老朽化のため休館。2021年、その役割を「なは一と」に引き継ぎました。



令和3（2021）年10月31日 久茂地、一銀通り沿いに那覇市の新たな文化の拠点が完成。
 「那覇市市制施行100周年記念・那覇文化芸術劇場なは一と開館記念式典」が執り行われました。



6月定例会における議場での新型コロナウイルス感染対策～定数数（20人）に留意し、各会派で出席議員数を調整～



～密集・密接を避けるため、間隔をあけた傍聴席～



～接触感染防止のため、マイボトル使用、演壇等に消毒液設置～

令和2（2020）年6月～ 新型コロナウイルス感染対策の議会対応が開始されました。
 （「那覇市議会だより」第230号）



令和3（2021）年11月26日 「那覇市議会100周年記念式典」を11月定例会の初日に本会議場で開催。那覇市文化協会の皆様が伝統芸能で華を添えていただきました。

パネル展 フォト・ダイジェスト

展示前



展示
作業中







那覇市議会 100 年史パネル展

展示後



資料

- なは市議会だより特集号（第236号）
- 100周年記念事業開催までの経緯
- 100周年記念式典・進行表
- 会派別名簿
- 議会事務局職員名簿



- 記念演舞者紹介
(重要無形文化財
琉球舞踊保持者)
- 立方(前列右から)
- かぎやで風
島袋君子 様
安次富紀子 様
浜千鳥
玉城静江 様
比嘉美好 様
金城光子 様
我那覇則子 様
- 地謡(後列右から)
- 太鼓
比嘉聰様(人間国宝)
- 歌三線
中村一雄様(人間国宝)
- 歌三線
照喜名進様
- 箏
赤嶺和子様
- 司会
那覇市文化協会 会長
崎山律子様



100周年記念



那覇市議会100年史パネル展

那覇市議会では、令和3年11月26日に開会した11月定例会を、「那覇市議会100周年記念定例会」とし、記念式典などを行いました。また、議場傍聴席入口周辺では、パネル展示を行いました。令和4年3月末まで、展示を予定しておりますので、是非、ご覧ください。



ピックアップ！パネル展



昭和56(1981)年6月
農連市場移転問題で現場視察する
経済民生委員会



昭和34(1959)年
市議会風景



平成14(2002)年2月6日
市政80周年記念事業の一環として、すべての世代を網羅する「市民議会」を開催
市内在住の小中高生、大学生及び一般から公募で43人を市民議会議員として選出



平成3(1991)年5月16日
市制70周年記念事業として21世紀を担う市内の中学生に市政や市議会についての関心と理解を深めてもらうために、市内の19校(市立17校、私立2校)から推薦された44人による子ども議会を開催



平成25(2013)年
那覇市章をモチーフにした円形のデザインで、議長の公平・中立を象徴するため、議員と執行部が対面となる配置とした円形議場

■那覇市議会 100 周年記念事業開催までの経過

《那覇市議会 100 周年記念事業》

- ◆那覇市議会 100 周年記念式典（令和 3 年 11 月 26 日開催）
- ◆那覇市議会開設 100 周年決議（令和 3 年 11 月 26 日本会議にて全会一致により可決）
- ◆議会 100 年史 パネル展（令和 3 年 11 月 26 日～令和 4 年 3 月 31 日まで開催）
- ◆なは市議会だより（第 236 号にて特集号を発刊） ◆100 周年記念誌発行

《各派代表者会議での経過記録》

令和 3 年	改選前																														
	1 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇市議会における 100 周年記念事業について、各会派より意見聴取 ・協議の結果、改選後に改めて再協議を行うこととなった 																													
	改選後																														
	9 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・市制 100 周年記念事業の開催の有無について、各会派より意見を聴取。 ・協議の結果、実施を前提に持ち帰りとなり、実施を判断した会派は次回、案を提示いただくこととなった 																													
	9 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・市制 100 周年記念事業の開催について、各会派からの提案を踏まえて協議を行った結果、「議場を活用した取組を実施する。内容については、今後も引き続き協議する」ことで決定した <p>《参考》 ※各会派からの提案内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会派名</th><th>事業名</th><th>提案事業</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自民党</td><td></td><td>議場でセレモニーを行う。簡易に。</td></tr> <tr> <td>公明党</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・100周年を冠にした議会（セレモニー） ・議会史（パネル展・映像配信） </td></tr> <tr> <td>ニライ</td><td></td><td>・パネル展（100周年の歩み）</td></tr> <tr> <td>日本共産党</td><td></td><td>・議場でセレモニーを行う（歴代議長出席、人間国宝の方々による舞踊等）</td></tr> <tr> <td>無所属クラブ</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・議場でセレモニーを行う ・記念樹を植樹 ・タイムカプセル </td></tr> <tr> <td>立憲民主・社大</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・広報（特集記事） ・パネル展示 </td></tr> <tr> <td>無所属の会</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化 ・議会史を活用した取り組みやアーカイブ映像（編集した方の講話映像） ・自治基本条例制定 </td></tr> <tr> <td>みんなの協働！</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・100周年の決議 ・染め織り議会 ・100年古酒づくり </td></tr> <tr> <td colspan="3">屋良栄作議員（無所属）からタイムカプセルの提案がありました。</td></tr> </tbody></table>	会派名	事業名	提案事業	自民党		議場でセレモニーを行う。簡易に。	公明党		<ul style="list-style-type: none"> ・100周年を冠にした議会（セレモニー） ・議会史（パネル展・映像配信） 	ニライ		・パネル展（100周年の歩み）	日本共産党		・議場でセレモニーを行う（歴代議長出席、人間国宝の方々による舞踊等）	無所属クラブ		<ul style="list-style-type: none"> ・議場でセレモニーを行う ・記念樹を植樹 ・タイムカプセル 	立憲民主・社大		<ul style="list-style-type: none"> ・広報（特集記事） ・パネル展示 	無所属の会		<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化 ・議会史を活用した取り組みやアーカイブ映像（編集した方の講話映像） ・自治基本条例制定 	みんなの協働！		<ul style="list-style-type: none"> ・100周年の決議 ・染め織り議会 ・100年古酒づくり 	屋良栄作議員（無所属）からタイムカプセルの提案がありました。	
会派名	事業名	提案事業																													
自民党		議場でセレモニーを行う。簡易に。																													
公明党		<ul style="list-style-type: none"> ・100周年を冠にした議会（セレモニー） ・議会史（パネル展・映像配信） 																													
ニライ		・パネル展（100周年の歩み）																													
日本共産党		・議場でセレモニーを行う（歴代議長出席、人間国宝の方々による舞踊等）																													
無所属クラブ		<ul style="list-style-type: none"> ・議場でセレモニーを行う ・記念樹を植樹 ・タイムカプセル 																													
立憲民主・社大		<ul style="list-style-type: none"> ・広報（特集記事） ・パネル展示 																													
無所属の会		<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化 ・議会史を活用した取り組みやアーカイブ映像（編集した方の講話映像） ・自治基本条例制定 																													
みんなの協働！		<ul style="list-style-type: none"> ・100周年の決議 ・染め織り議会 ・100年古酒づくり 																													
屋良栄作議員（無所属）からタイムカプセルの提案がありました。																															

令和3年

10月6日	<ul style="list-style-type: none">・市制 100 周年記念事業の実施について正副議長案を提示、協議した結果、 <ol style="list-style-type: none">1. 市制 100 周年記念・議会宣言決議の採択2. 議場セレモニー3. 議会史パネル展示4. 議会だより・市制 100 周年記念号の発行 <p>上記の 1～4 については、実施していくことで決定</p> <ol style="list-style-type: none">5. 記録動画作成6. 記念植樹7. その他、タイムカプセル、未来へつなぐ古酒仕込み、懸垂幕の設置 <p>上記の 5～7 については、引き続き協議することとなった</p> <p>次回、役員会を開催し、取組体制や分担を協議していくこととなった</p>								
10月8日	<p>市制 100 周年記念事業の実施について、正副議長が作成した懸念&確認事項をもとに協議を実施した</p> <p>【決定事項】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 11 月定例会初日（11 月 26 日）に「那覇市議会 100 周年記念式典」を開催する2. セレモニーの中での記念宴舞の依頼について、県立芸大か那覇市文化協会に依頼する3. 来賓については、歴代議長とし全員招待とするのかについては今後調整を行う4. セレモニーの名称は、「那覇市議会 100 周年記念式典」とする5. 懸垂幕に代えて、1 階玄関入口の「電子掲示板」を利用できるか調整を行う6. 記念植樹などに係る予算について確認して次回報告する								
10月18日	<p>市制 100 周年記念事業の実施について、協議した結果、以下のとおり決定した</p> <p>【持ち帰り案件】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 記念式典への歴代議長の来賓招待について <ul style="list-style-type: none">・（正副議長案）現在のコロナ禍の状況等を考慮し、歴代議長については、議場への招待は行わず歴代 30 代以前の方々よりビデオメッセージをいただく。ビデオメッセージについては、記念式典の中で大型モニターへ投影し紹介する <p>【ビデオメッセージ撮影予定者】</p> <table><tr><td>第 20 代・第 22 代</td><td>金城 重正</td></tr><tr><td>第 21 代</td><td>島袋 宗康</td></tr><tr><td>第 26 代</td><td>唐真 弘安</td></tr><tr><td>第 28 代</td><td>上原 清</td></tr></table> <ol style="list-style-type: none">2. 記念宴舞の実施の有無について <ul style="list-style-type: none">・見積もりの金額を確認し、記念宴舞実施の有無を判断する。 <p>【決定事項】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 100 周年記念式典での那覇市歌斉唱について <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の状況をみて判断、場合によっては静聴 <ol style="list-style-type: none">2. 宣言決議について（正副議長で案を作成し、役員会で確認していく）3. 傍聴者の対応について（コロナ禍の状況を見ながら対応する）	第 20 代・第 22 代	金城 重正	第 21 代	島袋 宗康	第 26 代	唐真 弘安	第 28 代	上原 清
第 20 代・第 22 代	金城 重正								
第 21 代	島袋 宗康								
第 26 代	唐真 弘安								
第 28 代	上原 清								

令和3年	10月18日	【保留事項】 1. パネル展について ・パネル展の実施に向けて（開催時期、場所、展示の内容） 2. 記念植樹について ・記念植樹実施の有無。 ※実施する場合（開催時期、植樹場所、植樹の種類等）
	11月2日	【決定事項】 1. 記念式典への歴代議長の来賓招待について ・現在のコロナ禍の状況等を考慮し、歴代議長については、議場への招待は行わず歴代30代以前の方々（4人）よりビデオメッセージをいただく。ビデオメッセージについては、記念式典の中で大型モニターへ投影し紹介する ・正副議長で連絡を取りながら進めていく 2. 記念宴舞について ・補正か流用か、流用とするなら論をたてて調整する。正副議長預かり。今週中（11月5日）までに結論を出す。案を提示して各会派に確認を進めていく 3. 記念植樹（時間的に厳しいため今回は見送る） 4. パネル展 ・4階のスペースを利用して行い、傍聴者の方々へ見てもらう ・監修（監督）は翁長 俊英議員 5. 記念宴舞以外での予算について ・消耗品費等を活用し係る費用については、正副議長で調整する
	11月15日	【決定事項】 1. 記念演舞に係る予算流用について ・配布した流用理由書の内容で全会派の了解をいただく。配布した流用理由書を提出し、流用手続きを進める 2. 100周年記念決議について（副議長が代表して案文を朗読する） 3. 100周年記念式典の司会について（議会事務局次長が行う） 4. 記念式典への歴代議長の来賓招待について ・唐真弘安氏、上原清氏とする。残りのお二人については、年齢面を考慮し撮影は行わない。唐真氏、上原氏の撮影は正副議長、事務局で進めていく。編集については、中村圭介議員、普久原朝日議員と相談して進める 5. 当日の運営について ・演舞の受け入れ（那覇市文化協会）について、金城亮太議員で対応とする ・記録写真の撮影について、普久原朝日議員にお願いをする ・記念演舞の動画記録について、1列目の議員にお願いする 6. パネル展 ・4階のスペースを利用して行い、傍聴者の方々へ見てもらう ・監修（監督）は翁長 俊英議員 ・11月25日の午前中に作業を行う。各会派から1名代表者を出していただき作業を行う

令和3年	11月15日	<p>7. 議会だより・記念号の編集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会だより編集委員会へお願いする <p>8. 会場の設営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祝 那覇市議会 100 周年記念式典」の字幕を市旗の上に貼り付ける ・紅白幕については、開場式では議長の後ろにしたが、今回は両サイドに掲げる ・演舞の配置については、配布した資料のとおり。崎山律子会長がナレーション（司会）を行う <p>9. 那覇市歌について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斉唱ではなく、静聴とする。その後、議長挨拶、市長挨拶、ビデオメッセージ、記念演舞とする。演舞終了後、議長による再開の宣言、その後に 100 周年決議を行う。終了後一旦休憩、司会の方で式典の閉会宣言。15 分の休憩を取りその間に那覇市文化協会の皆さまに挨拶を行う。休憩後、再開宣言して定例会の日程に入っていく <p>10. 100 周年決議の案文について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A案、B案を提示。メンバーから何名か出ていただき文言作成を行い、19 日金曜日の議運に上程させていただく。作成方法は、持ち回りで皆さんと連携を取りながら調整していく。調整で問題なければ、各派代表者会議は開かずに進めていく。（時間が短いため）19 日までに間に合うように進めるが、間に合わない場合には、11 月定例会初日の 2 日前 24 日までに固めるというスケジュールも念頭に進めていく
	11月15日以降	<p>《100 周年記念式典について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決議の文案について各会派間で調整（11 月 25 日に議会運営委員会提出）、ビデオメッセージの撮影、会場の設営（字幕、紅白幕の設置）、記念演舞者（那覇市文化協会）との調整等を経て 11 月 26 日に開催 <p>《パネル展について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示内容の検討、パネル素材の準備を経て、11 月 25 日（10 時 30 分～12 時）に各会派からスタッフを派遣していただき、パネル設営を実施した

会派別名簿及び那覇市議会100周年記念実行委員会(役員)

会派別名簿

会 派 名	役 職	氏 名	会 派 名	役 職	氏 名
自 民 党 (10人)	会 長 幹 事 長 政調会長 総務会長	栗 國 彰	日本共産党 (5 人)	団 長	古 堅 茂 治
		奥 間 亮		幹 事 長	湧 川 朝 渉
		大 山 たかお		政策調査委員長	我如古 一 郎
		吉 嶺 努		政策調査副委員長	前 田 千 尋
		山 川 典 二		会 計 長	西中間 久 枝
		外 間 有 里	無所属クラブ (3 人)	代 表	當 間 安 則
		比 嘉 啓 登		幹 事 長	奥 間 綾 乃
		金 城 直 子		副幹事長	宇 根 良 也
		花 城 典 史	立憲民主・社大 (3 人)	会 長	與 儀 喜 邦
		坂 井 浩 二		幹 事 長	上 原 快 佐
公 明 党 (7 人)	団 長 幹 事 長 政調会長 会 計	糸 数 昌 洋	無所属の会 (2 人)	代 表	前 泊 美 紀
		野 原 嘉 孝		幹 事 長	中 村 圭 介
		大 城 幼 子	みんなの協働！ (2 人)	代 表	上 里 直 司
		幸 地 わかえ		副 代 表	上 原 仙 子
		翁 長 俊 英	無 所 属		久 高 友 弘
		吉 里 明			屋 良 栄 作
		金 城 亮 太	常任委員会一覧 予算決算常任委員会 総務常任委員会 都市建設環境常任委員会 教育福祉常任委員会 厚生経済常任委員会		
ニ ラ イ (6 人)	会 長	多和田 栄 子			
	副 会 長	平 良 識 子			
	副 会 長	瀬名波 奎			
	幹 事 長	清 水 磨 男			
	副幹事長	山 田 マドカ			
	政調会長	糸 数 貴 子			

那覇市議会100周年記念実行委員会(役員)

委員長	久高 友弘 議長
副委員長	野原 嘉孝 副議長
	栗國 彰 議会運営委員会委員長
	糸数 昌洋 議会運営委員会副委員長
	奥間 亮 議員
	翁長 俊英 議員
	多和田 栄子 議員
	古堅 茂治 議員
	當間 安則 議員
	與儀 喜邦 議員
	前泊 美紀 議員
	上里 直司 議員

議会事務局名簿

○事務局職員の職、氏名

當新金仲高佐喜上豐德山宮國名長仲野荻上	間垣城宗根洲木武原里永城城頭城嶺地辺堂原	順康優太久正周育勝洋政亜史達美昌	子浩治健之佳一司章作子哉介直子彰也春夫	局次議副主主主主主主主主主主主主主主主主	課管理參 查法制 務課主 任主	長長長事幹查查長幹幹幹查事幹查查事	山仲譜玉宮嘉久	城地盛城里陽場	明利二耕ま宗景	子恵奈太子嗣太	会会会会会會運	派派派派派	事事事事轉	務務務務	員員員員手
---------------------	----------------------	------------------	---------------------	----------------------	--------------------------	-------------------	---------	---------	---------	---------	---------	-------	-------	------	-------





那覇市章をモチーフにした円形のデザインで、議長の公平・中立を象徴するため、議員と執行部が対面となる配置とした円形議場（平成 25 年（2013 年）「那覇市議会だより」第 198 号）



2022年(令和4年)3月25日発行

那 覇 市 議 会